

# 令和3年度 施政方針

## はじめに

令和3年度予算関係議案の審議に先立ち、私の市政運営の基本姿勢について申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症が拡大する中、私たちの健康や生活を守るため、懸命に努力していただいております医療従事者の皆様、介護関係者の皆様、全てのエッセンシャルワーカーの皆様に厚く御礼を申し上げます。

さて、私は、昨年11月の市長選挙におきまして、「共につくろう笑顔輝く新居浜市 夢をかたちに チーム新居浜」のスローガンのもと、「新型コロナ対策」、「防災・減災対策」、「少子高齢化・人口減少対策」、「地域経済の活性化」、「コミュニティの活性化」の5つを市政運営の柱に、第1・第2ステージに引き続き「安全で快適に暮らせる都市の実現」など、7つの夢の実現を基本政策に掲げ、市民の皆様方の温かいご支援とご理解を賜り、三たび、市政を担当させていただくこととなりました。

これまで2期8年間に「あかがねミュージアムの開館、総合防災拠点施設の供用開始」、「住友各社の大型設備投資や各種企業の誘致」、「各種がん検診・特定検診の無料化」、「子育て世代包括支援センター「すまいるステーション」の開設」、「全小中学校でのコミュニティスクール開設」、「地域コミュニティ再生事業交付金制度の創設」、「国際交流協会の設立」、「シティブランド戦略の推進」や東予東部圏域初の振興イベント「えひめさんさん物語の開催」など、これまでの取り組みを通して、笑顔輝く新居浜市の実現に向け一定の成果が残せたものと考えております。

このことは、国、県ご当局をはじめ、市議会議員の皆様、市民の皆様のご支援、ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、中国 武漢市で確認された「新型コロナウイルス感染症」が急速に全世界へ拡大し、国内においても、4月には全国一斉に緊急事態宣言が発出され、さらに56年ぶりの開催が予定されていた東京オリンピック・パラリンピックの延期など、地球規模で市民生活や経済活動に大きな混乱をもたらした一年となりました。

現在も、新規感染者数が増加し、感染拡大が収まらない状態が続いており、全国的に終息の見通しが立たない状況の中、市民生活の様々な場面で制約を受ける、これまでに経験したことのない日常が続いております。

本市では、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、市民生活と地域経済を守るため、国の地方創生臨時交付金などを活用し、市内の小中学校等へ手指消毒液を配布するなど「感染拡大の防止」や売り上げが減少した市内事業者へ給付金を支給するなど「雇用の維持と事業の継続」などの事業に総額148億円余りの予算措置を行うなど、新型コロナウイルス対策を行ってまいりました。今後におきましても、市民の皆様の生活を守り、経済の回復に向け取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症予防ワクチンの接種につきましては、まず、医療従事者や高齢者への接種が滞りなく実施できるよう、体制を強化するとともに、ワクチン接種推進グループを設置し、準備を進めているところでございます。引き続き、全市民への接種に向け万全を期してまいります。

このような中、昨年末、我が国の夢と希望を乗せて宇宙に旅立った「はやぶさ2」から、この太陽系の起源を探る岩石の入ったカプセルが地球に帰還しました。このプロジェクトの成功は、住友重機械工業新居浜工場をはじめとする本市ものづくり企業の高い技術力に支えられたものであり、ものづくりのまち新居浜にとりまして、全国に誇れるうれしいニュースでございました。

さらに、雑誌「アエラ」の2020年の8月号「コロナ時代の移住先ランキング」において、本市が移住に適した自治体の全国14位に選ばれました。分析項目は、住宅、買い物、カルチャー、将来性、子育て、治安、医療、災害・行政の8項目で、愛媛県内ではトップの評価となっております。

このことは、本市が「Hello! NEW 新居浜」を合言葉に、取り組んでおりますシティブランド戦略の大きな成果であり、これまで推進してきました「地方創生への取り組み」が着実に実を結びつつあると手ごたえを感じております。コロナ禍を機に、心の豊かさと安心で安全な生活を求め、地方への移住志向が高まっていますことから、今後も、子育てや生活のしやすさ、自然の豊かさなど本市の魅力を全国に向けて発信してまいります。

このような中、国におきましても、新型コロナウイルス感染症で明らかとなった行政サービス等における様々な課題に対処すべく、行政のデジタル化をはじめとしたデジタル社会の実現や2050年のカーボンニュートラルを目指した経済と環境の好循環、グリーン社会の実現、加えて、自然災害からの復興や国土強靱化に取り組んでいくなど、政策の大きな変革期を迎えております。

本市におきましても、令和3年度を時代の変革期の重要な1年と位置付け、令和3年度からスタートする本市の最上位計画であります「第六次新居浜市長期総合計画」に加え、2年目を迎えます人口減少問題の解決と地方創生を目標

とした「第2期新居浜市総合戦略」、更には、近い将来発生が懸念されております南海トラフ巨大地震に備えた防災・減災対策の充実・強化に向け、昨年策定いたしました「新居浜市国土強靱化地域計画」の3つの計画を着実に推進することに重点を置き、7つの夢の実現と新しい新居浜の創造に挑戦してまいります。

#### 第六次新居浜市長期総合計画の推進

まず、「第六次新居浜市長期総合計画」の推進でございます。

第六次長期総合計画では、将来都市像「一豊かな心で幸せつむぐ一人が輝くあかがねのまちにいはま」を目指してまいります。

本市は元禄4年、別子銅山の開坑により、鉱業、化学、重機械、電力、建設業等の産業が発展し、先人の知恵と精神、尊い努力によって、鉱山町から工業都市、ものづくり産業の集積都市へと発展してまいりました。

「あかがねのまち」は、別子銅山開坑以来の新居浜の歴史であり、世界に誇ることのできる地域の宝でございます。その誇りを本市のアイデンティティとするため、「あかがねのまち」を継承してまいります。

この将来都市像を実現するため、「未来を創り出す子どもが育つまち」、「健康で、いきいきと暮らし支えあうまち」、「活力とにぎわいにみち、魅力ある職場が生み出されるまち」、「安全・安心・快適を実感できるまち」、「人と地域の力で豊かな心を育み、つながり、学び合うまち」、「人と自然が調和した快適に生活できるまち」の6つのまちづくりの目標に加え、「計画の推進」による持続可能なまちの7つの柱を掲げ、42項目の施策、その施策を具現化する127項目の基本計画を着実に進めてまいります。

これまで、懸案となっておりました大型プロジェクトにつきましても計画に位置付け、財政状況や社会経済情勢等を十分に勘案し、着実に取り組んでまいります。まず、「総合運動公園」につきましては、来年度から基本計画の策定に向け取り組んでまいります。また、「市民文化センター」につきましては、令和9年に耐用年数が経過することも踏まえ、PFI等の新たな整備手法も視野に入れ、施設整備に向けた準備を進めてまいります。

また、デジタル化の推進やカーボンニュートラルに向けた取り組みでは、デジタル社会構築の基盤となるマイナンバーカードの普及、ICTやIoTなど先進的技術の活用によるスマートシティの推進やGIGAスクール構想に取り組むとともに、市内SDGs登録企業のエネルギー利用最適化診断にかかる費

用や省エネ・再エネ設備投資に対する補助を行うなど、産業・環境共生型設備導入支援を行ってまいります。

### 第2期新居浜市総合戦略の推進

次に、「第2期新居浜市総合戦略」の推進についてでございます。

本市では、東京圏への一極集中の是正と人口減少問題に対応するため、令和2年度を初年度とする5か年計画の「第2期新居浜市総合戦略」を策定し、取り組みを進めているところでございます。

「第2期総合戦略」では、Society（ソサイエティ）5.0の技術やSDGsを原動力としたまちづくりなど、新たな視点も取り入れ、「雇用創出と人材育成による産業の振興」、「関係人口の創出と交流・定住人口の拡大」、「子育て支援の充実と健康長寿社会の実現」、「多様な連携と時代に合ったまちづくりの推進」の4つの基本目標を掲げて、「住みたい住みたい あかがねのまち」の実現を目指し、強力に推進してまいります。

特に、全国的な出生数の減少に対応するため、子育て支援の新たな取り組みとして、これまで中学卒業までであった子どもの医療費助成を、令和3年10月から18歳までに延長し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ってまいります。

### 新居浜市国土強靱化地域計画の推進

次に、新居浜市国土強靱化地域計画の推進についてでございます。

国においては、昨年12月に、激甚化する災害への対策、予防保全に向けた老朽化対策の加速、デジタル化等の推進に係る対策のために、令和3年度から令和7年度までの5年間において、追加的に15兆円程度の事業規模を目途とする、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を閣議決定いたしました。

本市におきましても、昨年、新居浜市消防防災合同庁舎が完成し、今後発生が予想される様々な災害に対して、市民や地域、企業、行政が手を取り合い、自助・共助・公助の精神で一体となって地域強靱化に取り組むため、新居浜市国土強靱化地域計画を策定いたしました。

今後は、がけ崩れ防災対策、橋梁長寿命化、臨港道路の改修など、この計画に基づき、国等の制度を活用しながら災害に強いまちづくりを推進してまいります。

今年のNHK大河ドラマ「青天を衝け」の主人公であり、2024年発行予

定の新壺万円札の顔として注目されております、「近代日本経済の父」渋沢栄一の言葉に、「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」という言葉がございます。

人は、「夢」を持つことで理想、信念を持ち、「計画」を立案することができる。その計画を「行動」に移すことで、成果が生まれ、「幸せ」を手にすることができるという教えだと考えます。

私は、市長就任以来、「共につくろう笑顔輝く新居浜市 夢をかたちに チーム新居浜」のスローガンのもと、「安全で快適に暮らせる都市の実現」、「活力ある産業活動の実現」など7つの夢の実現に向けて「真摯」に取り組んでまいりました。

更に、令和3年度は、この7つの夢の実現に向け、「第六次長期総合計画」、「第2期総合戦略」、「国土強靱化地域計画」の3つの計画に基づき、市民の皆様、議員の皆様、そして行政が一体となった「チーム新居浜」で、各種施策を更に深化させて、市民の誰もが「幸せ」を実感できる「笑顔輝く新居浜市」を実現してまいります。

引き続き、主要施策の概要につきまして、第六次新居浜市長期総合計画に掲げる6つのまちづくりの目標ごとに、順次ご説明申し上げます。